**PFOSおよびPFOAの使用実態に係る調査票**

別添

アンケート調査に御協力ください。

貴事業場名称　〔〕

貴事業場所在地〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問１　**PFOS**の使用履歴について（現在までの使用状況について回答ください。）

□有（有の場合は以下の①～④についても御回答ください。）

□無 、 □不明（おそらく使用無） 、 □不明（おそらく使用有）

①使用期間　〔　　　　年　　月　～　　　　　年　　日　　〕

②使用用途　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 〕

③使用場所　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 〕

④使 用 量 〔　　　　　　　　　　　 kg ・ L　／ 年　 〕

問２　**PFOA**の使用履歴について（現在までの使用状況について回答ください。）

□有（有の場合は以下の①～④についても御回答ください。）

□無 、 □不明（おそらく使用無） 、 □不明（おそらく使用有）

①使用期間　〔　　　　年　　月　～　　　　　年　　日　　〕

②使用用途　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 〕

③使用場所　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 〕

④使 用 量 〔　　　　　　　　　　　 kg ・ L　／ 年　 〕

以上でアンケート調査は終了です。御協力誠にありがとうございました。

**（参考）PFOSおよびPFOAについて**

　有機フッ素化合物の一つであるPFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）及びPFOA(ペルフルオロオクタン酸)は化学的に極めて安定性が高く、水溶性かつ不揮発性の物質であるため、環境中に放出された場合には、水系に移行しやすく、また、難分解性のため長期的に環境に残留すると考えられている。撥水性と撥油性を併せ持つ特異な化学的性質としても様々な表面処理の用途に使われてきた。

**PFOSの主な用途**：泡消火薬剤、半導体、金属メッキ、フォトマスク（半導体、液晶ディスプレイ）、写真フィルム等（現在、PFOSは製造・製品への使用禁止）

**PFOAの主な用途**：泡消火薬剤、繊維、医療、電子基板、自動車、食品包装紙、石材、フローリング、皮革、防護服等（現在、PFOAは製造メーカーの自主規制により製造中止）

**水環境中への排出源となり得る主な施設**：PFOS及びPFOAが含まれる泡消火薬剤を保有する施設、フッ素系界面活性剤の製造施設、これらの製品を利用するフッ素系樹脂の製造施設、繊維や織物関係で特に表面処理を施す施設、半導体関連その他の電子材料関連施設、金属メッキやエッチング関連施設、製紙・紙工業、ゴム・プラスチック関連施設等